【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成19年6月14日(2007.6.14)

【公開番号】特開2005-328999(P2005-328999A)
【公開日】平成17年12月2日(2005.12.2)
【年通号数】公開・登録公報2005-047
【出願番号】特願2004-149644(P2004-149644)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　1/00　(2006.01)
Ｇ０２Ｂ　23/24　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　1/00　３２０Ｂ
Ｇ０２Ｂ　23/24　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成19年4月23日(2007.4.23)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
被検体内に挿入するための挿入部と、
前記挿入部に設けた磁性体と、
前記磁性体と接続され、前記挿入部の外周の少なくとも一部に配置した螺旋状突起部と、
前記磁性体を回転させるための回転磁界を発生する磁気誘導装置と、
前記挿入部に配置された、少なくとも一つのコイルの位置を検出する検出装置と、
を具備し、
前記磁気誘導装置は、前記検出装置の検出結果に基づき前記磁性体の回転を制御することを特徴とする医療装置。
【請求項２】
前記磁気誘導装置は、前記検出装置の検出結果から前記コイルの位置を解析する解析部と、
前記解析部の解析結果に基づき、被検体内における前記挿入部の進退動作を検知する検知部と、
前記検知部の検知結果に基づき、前記回転磁界を制御する制御部と
を有することを特徴とする請求項１に記載の医療装置。
【請求項３】
前記制御部は、被検体内における前記挿入部の進退動作が所定時間を行われない場合に、前記回転磁界をオフすることを特徴とする請求項２に記載の医療装置。
【請求項４】
前記制御部は、前記検知部の検知結果より、前記回転磁界をオフすることを特徴とする請求項２に記載の医療装置。
【請求項５】
前記解析部が画像処理部であることを特徴とする請求項２から４のいずれか一つに記載の医療装置。
【請求項６】

前記螺旋状突起が、前記挿入部に対して回転することを特徴とする請求項１から７のいずれか一つに記載の医療装置。
【請求項７】
前記螺旋状突起部の配置位置は、前記挿入部の先端側であることを特徴とする請求項１から７のいずれか一つに記載の医療装置。
【請求項８】
前記磁性体がベアリング部を有することを特徴とする請求項１から７のいずれか一つに記載の医療装置。
【請求項９】
前記磁性体が円筒（チューブ）状であることを特徴とする請求項１から７のいずれか一つに記載の医療装置。
【請求項１０】
前記検出装置が、前記挿入部の挿入形状を検出する挿入形状検出装置であることを特徴とする請求項１から９のいずれか一つに記載の医療装置。
【請求項１１】
前記検出装置は、前記コイルの位置を３次元的に検出するためのアンテナを有し、
前記アンテナを、被検体に装着可能な腹巻型に形成したことを特徴とする請求項１から１０のいずれか一つに記載の医療装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１４
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１４】
本発明による医療装置は、被検体内に挿入するための挿入部と、前記挿入部に設けた磁性体と、前記磁性体と接続され、前記挿入部の外周の少なくとも一部に配置した螺旋状突起部と、前記磁性体を回転させるための回転磁界を発生する磁気誘導装置と、前記挿入部に配置された、少なくとも一つのコイルの位置を検出する検出装置と、を具備し、前記磁気誘導装置は、前記検出装置の検出結果に基づき前記磁性体の回転を制御することを特徴としている。